



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日  
福

上場会社名 昭和鉄工株式会社 上場取引所  
コード番号 5953 URL <http://www.showa.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本駿一  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 一木和弘 (TEL) 092-651-2933  
四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,078	△6.1	△255	—	△242	—	△224	—
26年3月期第1四半期	2,214	10.2	△196	—	△181	—	646	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △84百万円(—%) 26年3月期第1四半期 590百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△26.66	—
26年3月期第1四半期	76.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	14,495	3,010	20.8
26年3月期	15,081	3,131	20.8

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,010百万円 26年3月期 3,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	7.0	△100	—	△100	—	△120	—	△14.23
通期	12,000	7.9	250	—	250	1,899.4	200	86.2	23.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	8,970,000株	26年3月期	8,970,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	538,071株	26年3月期	537,921株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	8,432,077株	26年3月期1Q	8,433,001株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成26年4月の消費税増税による個人消費の落ち込みや原油を始めとする輸入原材料価格の上昇等、景気の先行きには不透明な要因が残っているものの、消費税増税前の駆け込み需要の反動減も概ね想定内に留まっているものと見られ、また、企業業績の回復に伴う雇用・所得環境の改善や設備投資の増加等により、景気の回復基調継続が期待される状況となっています。

このような情勢の中で当社グループは、平成30年度を最終年度とする新中期経営計画の初年度として、新中期経営計画の基本方針である「既存事業の持続的進化」と「新規事業の確立」の実現に向け、差別化した新製品・サービスの拡販と新規事業への投資を実施してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、20億7千8百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

損益面につきましては、営業損失2億5千5百万円（前年同期は営業損失1億9千6百万円）、経常損失2億4千2百万円（前年同期は経常損失1億8千1百万円）、四半期純損失は2億2千4百万円（前年同期は四半期純利益6億4千6百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ・機器装置事業

機器装置事業につきましては、空調BU（ビジネスユニット）はやや低調に推移しましたが、熱源BU、環境BU及びサーモデバイスBUは比較的好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は13億8千1百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

#### ・素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、素形材BUは堅調に推移しましたが、都市景観BUは前年度のような大型案件がなかったため、大幅に減少しました。

この結果、当事業の売上高は2億7千4百万円（前年同期比46.0%減）となりました。

#### ・サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、設備工事はやや低調に推移しましたが、有料サービス及びリニューアル工事は堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は4億2千2百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産・負債・純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億8千5百万円減少し、144億9千5百万円となりました。主な要因は、たな卸資産（商品及び製品、原材料、仕掛品）が4億2千5百万円、投資有価証券が2億円増加した一方、現金及び預金が2億2千8百万円、売上債権（受取手形及び売掛金、電子記録債権）が11億3千9百万円減少したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べ4億6千5百万円減少し、114億8千4百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債が7千万円増加した一方、支払手形及び買掛金が9千5百万円、流動負債「その他」が1億9千9百万円が減少したことによるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ1億2千万円減少し、30億1千万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が1億5千5百万円増加した一方、利益剰余金が2億6千百万円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月14日公表時から変更しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が6百万円減少し、利益剰余金が6百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,056	2,827
受取手形及び売掛金	3,773	2,600
電子記録債権	139	172
商品及び製品	159	298
仕掛品	651	916
原材料	316	337
その他	66	265
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	8,159	7,416
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,584	1,581
その他(純額)	892	877
有形固定資産合計	2,477	2,458
無形固定資産		
	38	36
投資その他の資産		
投資有価証券	3,818	4,018
その他	615	592
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	4,406	4,584
固定資産合計	6,922	7,079
資産合計	15,081	14,495
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,739	2,644
短期借入金	4,220	4,620
未払法人税等	57	11
サーモデバイス事業関連損失引当金	116	38
その他	1,060	860
流動負債合計	8,193	8,174
固定負債		
長期借入金	1,090	680
退職給付に係る負債	2,042	2,027
繰延税金負債	13	83
その他	611	518
固定負債合計	3,756	3,309
負債合計	11,950	11,484

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225
利益剰余金	543	283
自己株式	△88	△88
株主資本合計	3,322	3,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100	256
為替換算調整勘定	111	80
退職給付に係る調整累計額	△403	△387
その他の包括利益累計額合計	△191	△51
純資産合計	3,131	3,010
負債純資産合計	15,081	14,495

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,214	2,078
売上原価	1,797	1,708
売上総利益	417	369
販売費及び一般管理費	613	625
営業損失(△)	△196	△255
営業外収益		
受取利息	3	9
受取配当金	25	31
その他	6	5
営業外収益合計	36	46
営業外費用		
支払利息	20	19
持分法による投資損失	-	8
その他	1	5
営業外費用合計	21	34
経常損失(△)	△181	△242
特別利益		
固定資産売却益	934	22
特別利益合計	934	22
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	752	△220
法人税、住民税及び事業税	62	4
法人税等調整額	44	-
法人税等合計	106	4
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	646	△224
四半期純利益又は四半期純損失(△)	646	△224



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	646	△224
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83	155
退職給付に係る調整額	-	15
持分法適用会社に対する持分相当額	27	△31
その他の包括利益合計	△55	139
四半期包括利益	590	△84
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	590	△84
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,254	508	451	2,214
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	2	9	14
計	1,257	510	460	2,228
セグメント損失(△)	△167	△26	△2	△196

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△196
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△196

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,381	274	422	2,078
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	1	43	47
計	1,384	275	466	2,126
セグメント損失(△)	△148	△75	△31	△255

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△255
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△255

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。